

NANTAN

119たより

NANTAN
FIRE DEPARTMENT
2024
No. 33



主な内容 表紙：関宮学園 社会見学

特集 火災による死者・負傷者を出さないために
～住宅火災から命を守る10のポイント～
..... 2・3

- ◆ 秋の火災予防運動に伴う行事
(一日消防官、消防ふれあい祭り) 4
- ◆ 消防出初式
関西電力送配電(株)との合同訓練 5

火災による死者・負傷者を出さないために

～住宅火災から命を守る10のポイント～



火災発生状況

南但消防本部管内（養父市・朝来市）における令和5年の火災件数は28件でした。

火災種別でみると「建物火災」が14件、「車両火災」が7件、「林野火災」が1件、「その他の火災」が6件でした。

建物火災の発生割合が令和3年から5年までの3年間約半数以上を占め、近年増加しています。（表1参照）

また、全国における令和4年の火災件数は3万6,314件で、「建物火災」が2万167件と約56%を占めており、全国的にも建物火災が多く発生していることがわかります。

火災による死者・負傷者の状況

全国で火災による総死者数は1,452人で、そのうち住宅火災における死者が972人とな

出火原因

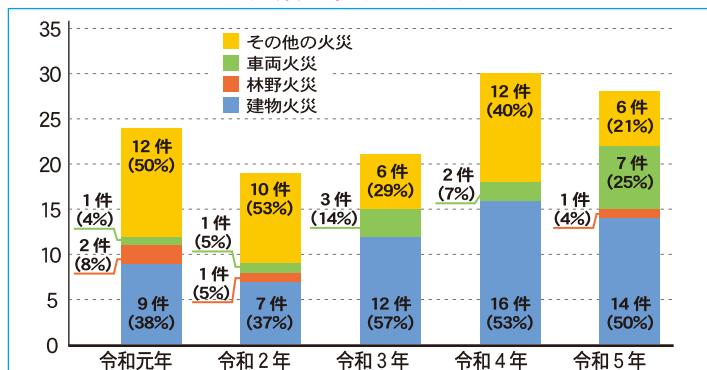
全国における令和4年の総火災件数のうち、出火原因として最多のは「たばこ」で3,209件、次いで「たき火」が3,105件、「こんろ」が2,771件となっています。また、建物火災における出火原因で最も多いのは「こんろ」で2,713件、「たばこ」が1,844件です。

南但消防本部では、令和5年の火災件数のうち、出火原因として最も多いのは「焼却火」で7件、次いで車両の「電気系統や排気管など」が5件、「電気関係」が3件となつており、「その他の原因」や「原因不明」が13件となっています。「焼却火」が原因で建物へ燃え移った火災が2件ありました。

つています。住宅火災における死者のうち、65歳以上の高齢者が731人と約75%を占めています。

南但消防本部でも、平成26年から令和5年までの10年間の火災をみると、死者が13人、負傷者が43人発生し、毎年約1人の方が火災により犠牲となっています。死者13人のうち住宅火災で犠牲になつた方が9人で、全員が65歳以上の高齢者です。いかに住宅火災が恐ろしいかをこの結果が示しています。

表1 南但消防本部管内過去5年次別火災発生状況



住宅火災から命を守る10のポイント

◇4つの習慣

1 寝たばこは絶対にしない、させない

建物火災における出火原因の第2位は【たばこ】となっています。寝たばこは特に危険性が高いため絶対に止め、灰皿のある決まり場所で吸いましょう。

2 ストーブの周りに燃えやすいものを置かない

ストーブの周辺や上部で洗濯物を乾かしたりしていませんか？ストーブの周りは常に整理整頓しましょう！

3 防炎品

火災の拡大を防ぐために、コンセントは普段からこまめに掃除し、たこ足配線は危険ですので、必要のないプラグは抜いておきましょう。

4 コンセントはほこりを清掃し、不必要的プラグは抜く

火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置しましょう。設置してある警報器は定期的に点検し、10年を安全に新しいものに交換しましょう。



防炎品を使用



4 住宅用消火器

火災を小さいうちに消すために、消火器を設置します。住宅用消火器は、小型・軽量で、どなたでも簡単に使用できます。



◇6つの対策

1 ストーブ・こんろ

火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろは自動消火装置や給油時消火装置などの安全装置が付いた器具を使用しましょう。

2 住宅用火災警報器

火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置しましょう。設置してある警報器は定期的に点検し、10年を安全に新しいものに交換しましょう。

6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

地域で行う消防訓練や、住宅密集地訓練などに積極的に参加しましょう。また、日頃からご近所との協力体制を作つておきましょう。

5 避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく

いざという時に、慌てず避難できるように、日頃から避難する経路や場所を確認しておきましょう。一度避難したら、引き返さないことが大切です。

住宅火災が発生した場合、被害を軽減するためには、火災の早期発見、的確な119番通報、初期消火や避難などの一連の行動が重要です。

おわりに

前号（32号）でも紹介しましたが、条例で定められている場所に設置するとともに、点検・維持管理を徹底してください。これからまだまだ寒い日が続き、火を扱う機会が多いと思います。住宅火災から命を守る10のポイントを守り、住宅火災による死者・負傷者を出さないようにしましょう。消防本部でも引き続き火災予防に関する啓発活動を行い、安全・安心なまちづくりに努めます。

将来の防火防災の担い手・つなぎ手に — 秋の火災予防運動 —



11月9日(木)から11月15日(水)までの7日間、秋の火災予防運動を実施しました。

子どもたちは、将来の防火防災の担い手とつなぎ手。今年も火災予防運動期間中の行事を通して、たくさんの子どもたちと防火防災についてふれあいました。



▲ 関宮こども園
はしご車の前で記念撮影



▲ はしご車搭乗体験

令和5年11月9日(木)に朝来市山東町の照福こども園、10日(金)に養父市の関宮こども園で、両市の女性消防団員を一日消防官に迎え、消防教室を開催しました。

それぞれのこども園で一日消防官が防火・防災に関する〇×クイズを行いました。次の問題は何かと心待ちの子どもたち。クイズに正解すると大歓声を上げるなど楽しみながら防火・防災について学びました。

また、5歳児による写生会では、画用紙にはしご車を元気いっぱい書いてくれました。その後、はしご車の前で記念撮影。

令和5年11月12日(日)にイオン和田山ショッピングセンターで「消防ふれあい祭り」を開催しました。子どもたちに大人気のはしご車搭乗体験をはじめ、消火器を使用した消火体験、消防車両の展示、住宅用火災警報器の普及啓発を行いました。

はしご車搭乗体験では、順番待ちの子どもから「はしご車かっこいい。将来は、消防士になつて、はしご車を操縦したい」と嬉しい声が上がっていました。

これから地域の防火防災力の向上には、幼少期から防火防災に関心を持つてもらうことも大切なポイントの一つです。今後も防火防災がより身近に感じられるイベントを開催します。

一日消防官

消防ふれあい祭り

出初式を開催しました

1月12日（金）、新春を迎えた南但消防本部「出初式」を開催しました。式典では南但広域行政事務組合藤岡管理者の訓示をうけ、職員が一丸となって安全・安心な南但を目指すことを誓いました。

また、屋外訓練場では、消防車両7台、職員25人が部隊指揮者の指揮により、小隊ごとに車両前に整列し、観閲者による部隊観閲を受けました。

引き続き救急救助訓練では、救助隊員らが救助資器材やはしご車を使用し、倒壊した5階建てのビルから要救助者を救出し、その後救急隊が救命処置を行うなど、日頃の訓練の成果を存分に披露することができました。

最後に消防車2台と、はしご車からの一斉放水を行い、出初式を締めくくりました。「安全・安心して暮らせる南但」を目指すとともに、市民の信頼・期待に応え得る消防としてより一層邁進することを決意しました。



▲部隊観閲



▲一斉放水



▲はしご車の前で記念撮影

送配電線事故対応合同 訓練を実施しました。

令和5年11月15日（水）、豊岡市日高町の送電線訓練施設で関西電力送配電株式会社との事故対応合同訓練を実施しました。

送配電線に関する事故事例として全国的には、鉄塔上で作業員が体調不良を起こし動けなくなつた事案や、感電による事故、また、パラグライダーが電線に引っかかり宙吊り状態となる事故などが報告されています。

訓練は、関西電力送配電株式会社職員の指導のもと、送配電線に関する座学や、高さ22メートルの訓練用鉄塔を使用した鉄塔昇降訓練、鉄塔から電線に乗り移る訓練、ロープなどの救助資機材を使用して鉄塔上から地上へ負傷者を救出する想定訓練を実施しました。



訓練に参加した隊員は、「鉄塔上は、高さによる恐怖心に加えて、足場も少なく、活動がかなり制限される状況であり、良い経験ができました」と話しました。電気は、その危険性を目で確認しにくい特性があり、事故対応には、専門機関の協力が必要不可欠となります。今後も他機関と連携し、継続して訓練を行っていきます。

訓練に参加した隊員は、「鉄塔



救助活動・救助人員ともに減少

救助件数は56件で、前年と比較すると6件減少しています。56件のうち34件で救助活動を行っており、33人を救助しています。

救
助

※救助件数・搬送人員ともに減少

救助件数は3,047件、搬送人員は2,713人です。前年と比較すると救助件数は31件、搬送人員は49人減少しています。また、管轄外に1件出動しています。

救
急

※急救件数・搬送人員ともに減少

出火件数は28件で、前年と比較すると2件減少しています。しかし、車両火災は前年と比較すると5件増加しています。

火
災

消防白書

令和5年
1月～12月

種別	署別	総 数	朝来署	養父署
総 数		56 (62)	19 (30)	37 (32)
交通事故		16	5	11
機 械		1	0	1
水 難		2	1	1
その他の		37	13	24

() 内は前年件数

種別	署別	総 数	朝来署	養父署	管轄
総 数		3,047 (3,078)	1,647 (1,542)	1,399 (1,535)	1 (1)
急 病		1,973	1,108	864	1
交通事故		152	97	55	0
一般負傷		500	254	246	0
その他の		422	188	234	0

() 内は前年件数



火災調査レポート

『車両火災にご用心』

令和5年中の南但消防本部管内における火災件数は28件で、そのうち車両火災は7件発生し、過去最も多く発生した年となりました。また、同年9月には、山陽自動車道の尼子山トンネル内で車両火災が発生し、交通に大きな支障が出たことは皆さんの記憶にも残っていることだと思います。

『どうして車両火災が起きるのか』

- 整備不良による出火
- エンジンルームにウエス・段ボールなどを置き忘れて高温部に触れ出火
- 電気用品の取付不良によりショートし出火
- 交通事故で車両が破損したことにより出火

『車両火災を防ぐには』

- 確実に点検、整備をしましょう！
- 定期的にエンジンルームを点検しましょう！
- 電気用品の取付は専門業者に依頼しましょう！
- 高温になる車内、特にダッシュボードには物を置かないようになります！

『万が一車両火災が発生したら』

- ハザードランプを点滅させ、路肩などの安全な場所に停車し119番通報とともに、可能な範囲で初期消火を行って下さい。ガソリンが漏れていると爆発の恐れがあるので、決して無理な消火はせず、周りの車両に注意しその場を離れてください。
- 間もなく温かい季節を迎え、お出かけする機会も多くなると思います。安全運転を心掛け、なにか異常を感じれば専門業者に点検もしくは整備を依頼しましょう。



お知らせ

◆養父消防署救急車更新

養父消防署の救急車を更新し、令和5年10月28日から運用を開始しています。

この救急車は、積雪時にも対応できる四輪駆動車で、全周囲カメラなどの安全装置や発光パターンが変化し視認性を向上させる赤色警光灯が備わっています。

さらに防振ベッドは従来の空気式から、加速減速時に生じる不快感を減らす磁気式に変更しており、傷病者への負担軽減を図っています。



▲車内の様子



▲最新の高規格救急車

子どもに対する心肺蘇生法やAEDの使用方法など、救急車が到着するまでに行える応急手当を学びませんか。

日時：令和6年3月2日（土）9時から12時まで

場所：南但消防本部

受付：コミニティ消防センター

定員：20名



▲心肺蘇生法の様子

◆普通救命講習

◆春の火災予防運動

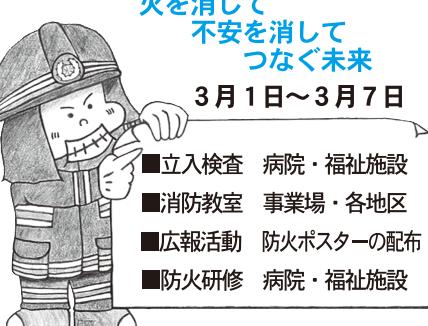
◆消防団員の皆さんへ

火災が発生しやすい季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図ることを目的として、3月1日から3月7日までの7日間、全国一斉に春の火災予防運動が展開されます。

朝来消防署、養父消防署ともに火災ゼロに向か、万全の態勢で臨みます。

火を消して
不安を消して
つなぐ未来

3月1日～3月7日



- 立入検査 病院・福祉施設
- 消防教室 事業場・各地区
- 広報活動 防火ポスターの配布
- 防火研修 病院・福祉施設

火災発生場所が地図上に表示され、見える化“することで、これまで以上に現場の確認がしやすくなります。消防本部では、確実かつ迅速な出動指令が行えるよう、日々取り組んでいます。出来る限り正確な情報を伝えができるよう、今後も努力していくので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

養父市・朝来市内で火災が発生した際には、登録されているすべての消防団員に対して、火災連絡メールを送信しています。これまでは、火災発生場所や出動目標物などを文字情報のみでお伝えしていましたが、令和6年4月からは、これに加えて地図情報を送信します。

とびだせ だいちゃん



NANTAN 119だより

NANTAN 119だより第33号

2024年2月1日発行(年3回発行)

■発行・編集
南但消防本部予防課
兵庫県朝来市
和田山町枚田436-1

南但消防本部